

「うないとともにひらく明日」をテーマに、人権、子ども、福祉、環境など多くの課題に取り組んでいる人たちが団体が一堂に会し、日頃の活動の成果を展示、発表する「第25回うないフェスティバル」が12月13日(日)、那覇市ぶんかテンプス館とテンプス前広場で開催されました。

会場には、「人権」、「平和」、「子ども」などの分野に50のグループや個人が参加し、パネル展示やワークショップなどで、来場者に活動やその成果をアピールしました。



## うないとともにひらく明日 ～第25回うないフェスティバル～

市では、本市と台湾との国際交流・国際親善に多大な功績をあげた中琉文化経済協会理事長の蔡雪泥女史に11月22日(日)、「那覇市国際親善栄誉賞」を贈りました。

蔡女史は、県第1号の「新ウチナー民間大使」にも任命されていますが、今回の受賞を機に、那覇市と台湾の架け橋として更なる活躍を期待しています。

国際親善栄誉賞の受賞者は、昨年度の故照屋マリーオ氏に続き2人目です。



さいせつれい 蔡雪泥女史へ「国際親善栄誉賞」  
～那覇市と台湾の国際交流に貢献～

12月13日(日)、「なは教育の日」の関連イベントとして「第4回やる気・元気旗頭フェスタinなは」が新都心公園多目的広場でにぎやかに開催されました。

今回で4回目の開催となる同フェスタは、伝統文化の継承と地域とのつながり、青少年の健全育成を目的に行われ、分校を含む18の中学校と36の小学校が参加。各学校とも趣向を凝らした旗頭を、仲間と一致団結して掛け声に合わせて、さわやかな風が吹き抜ける青空に高く掲げていました。



## 大空に舞え! 僕らの旗頭 ～第4回やる気・元気旗頭フェスタinなは～

世界遺産に登録されている「国指定特別名勝 識名園」に親しみながら、真和志地域の伝統文化の継承、地域の活性化を図るため11月29日(日)、第11回識名園友遊会が開かれました。

会場では、案内親方による園内巡りや、ブクブク茶・折り紙の体験コーナー、真和志地域の伝統芸能などを披露する演舞発表が催され、来場者は美しい識名園の景色を觀賞しながら様々なイベントを楽しんでいました。



## 世界遺産「識名園」を満喫! ～第11回識名園友遊会～

## 「首里・那覇の装い」展 ～王国時代から戦前まで～



尚王家の王子衣裳(左)と男性用の礼服(右)

琉球王国時代、政治や経済の中心地であった首里・那覇は、中国や東南アジア、日本といった様々な国の影響を受けながら独自の服飾文化を創りあげてきました。衣裳や八巻と呼ばれる冠などは、中国から輸入した反物のほか、絹や芋麻、芭蕉、木綿といった素材を用い、紅型や紺、浮織など、琉球で発達した染織技術を使って製作されました。

中国の明王朝との朝貢・冊封関係を築いて以来、琉球王国の役人は王府での儀式の際、明王朝より賜った明服を礼服として着用しました。明王朝が倒れ清王朝になると、琉球の冠服を礼服として着用するようになります。服装は場によって、最高の礼服である朝衣冠から順次、色衣冠、色衣の三種に着分けられていました。朝衣冠は、冠、帯、朝衣といっ

た三点セットで、身分によって素材や色などが定められていました。士族層の女性達は巻スカート状の「カカン」に、身丈の短い上着の「ドウジン」と呼ばれる衣裳の上から夏は「田無」、冬は「綿衣」といった衣裳を羽織り着用しました。

女性も男性同様、身分に準じた服装をし、衣服を見ただけで階級が分かるようになっており、礼服、晴着、日常着に至るまで素材や技法、色や柄が分けられました。

このように、男女問わず王国時代の服装文化は身分制度のなかで育まれ、「琉装」というスタイルを確立させていきました。

【展示会】  
3月3日(水)まで  
お問い合わせ  
那覇市歴史博物館  
☎869-5266

那覇市歴史博物館  
那覇の歴史・文化を体感!

目標を見つけたら  
未来の自分の姿が見えてきた。

先が見えない厳しい世の中。  
どうしようか、迷っていませんか? やりたいこと、我慢していませんか?  
思い切って踏み出してみると、明日の自分が見えてくるかもしれません。

平成22年度 関心のある1科目から学べます。  
**4月入学生募集中!**  
出願期間:平成21年11月15日(日)～平成22年2月28日(日)

オープンキャンパス・個別指導  
毎週土曜日・日曜日(13:00～17:00) 沖縄学習センターにて開催 **無料・要予約**  
くわしくは下記へお問い合わせください。

放送大学は通信制の大学ですが、全国の都道府県に学習センターがあります。  
学習センターの見学や資料のご請求は、最寄りの学習センターへまでお気軽に申し付けください。



**放送大学**

沖縄学習センター  
TEL.098-895-5952

資料請求や出願は、インターネットでもできます!  
放送大学 検索 [www.u-air.ac.jp](http://www.u-air.ac.jp)



西原町字千原1番地(琉球大学内)  
〒903-0129  
見学受付:10:00～17:00  
(月曜・祝日休館)